

第2回教育委員会会議

令和6年1月30日
午後3時00分
市会第5委員会室

案 件

報告第2号

令和5年度大阪市英語力調査について

令和5年度 大阪市英語力調査について

大阪市英語力調査とは

- (1) 目的 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。
- (2) 実施テスト GTEC Core（英語4技能型テスト）
- (3) 調査対象 大阪市立中学校第3学年全生徒

(4) 測定方法

技能	スコア	回答方法
聞くこと	210	マークシートによる選択式
読むこと	210	
話すこと (やり取り・発表)	210	オフラインで、専用タブレットによる音声録音方式
書くこと	210	記述式
計	840	

大阪市英語力調査結果

		GTEC 平均スコア					*1CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合
		リスニング (聞くこと)	リーディング (読むこと)	スピーキング (話すこと)	ライティング (書くこと)	トータル	
R5 (2023)	大阪市平均	107.7	101.3	102.2	137.9	451.8	54.3%
	*2他都市平均	106.0	100.0	97.0	156.0	461.0	—
	差	+1.7	+1.3	+5.2	-18.1	-9.2	—

- *1 CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment): 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠。A1は英検に換算すると3級程度。国の第4期教育振興基本計画における目標指標は50%以上。
- *2 他都市平均とは、GTECを実施した全国970校、約10万人の平均値

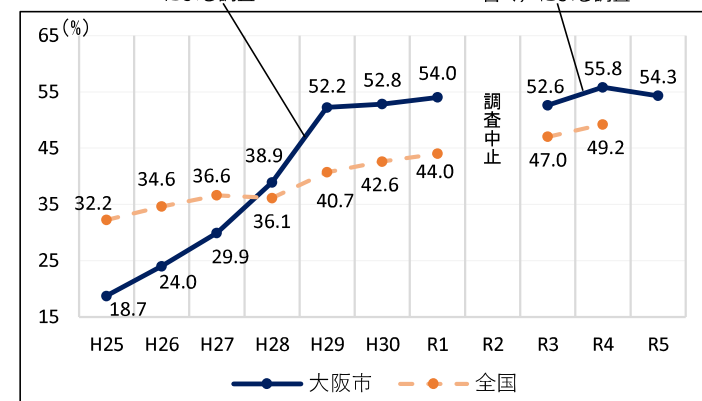
- リスニング、リーディングは3年連続して他都市平均を上回っている。
- これまで弱みであったスピーキングは、他都市平均を5.2ポイント上回り、徐々に改善されている。一方で、ライティングは、他都市平均を18.1ポイント下回り、状況を分析・検証したうえで、改善につなげる必要がある。
- CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合は、4技能での測定後も3年連続で国の目標値である50%を上回っている。

〈参考〉

		GTEC 平均スコア					*1CEFR A1レベル相当以上の中学3年生の割合
		リスニング	リーディング	スピーキング	ライティング	トータル	
R3 (2021)	大阪市平均	108.0	100.9	93.0	140.3	444.4	52.6%
	*2他都市平均	104.0	98.0	99.0	157.0	461.0	—
	差	+4.0	+2.9	-6.0	-16.7	-16.6	—
R4 (2022)	大阪市平均	105.4	102.8	96.6	152.4	459.4	55.8%
	*2他都市平均	104.0	99.0	97.0	153.0	456.0	—
	差	+1.4	+3.8	-0.4	-0.6	+3.4	—

CEFR A1レベル(英検3級)以上の英語力を有する中学3年生の割合

- 2技能（聞く、読む）による調査
- 4技能（聞く、読む、話す、書く）による調査



◆スピーキング力向上の要因

- 授業で、英語による言語活動を行っている割合が昨年度比9.3ポイント増加
- スピーキングテストの実施回数が増加

※ テストのみの回数であり、普段のスピーキングの活動は含まない

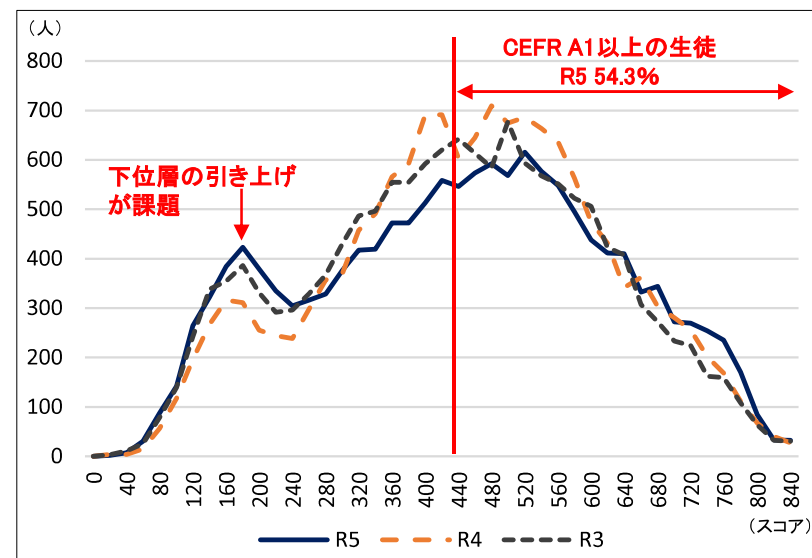
英語教育実施状況調査(文科省)設問 (R5,12.1時点調査)	大阪市結果		
	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
授業で、半分以上の時間、英語による言語活動を行っている割合(中学3年生)	45.2%	47.7%	57.0%
スピーキングテストの実施回数 ※英語によるインタビューや発表等のテスト	1校平均3.8回	1校平均3.8回	1校平均4.4回

◆ライティング力低下の要因

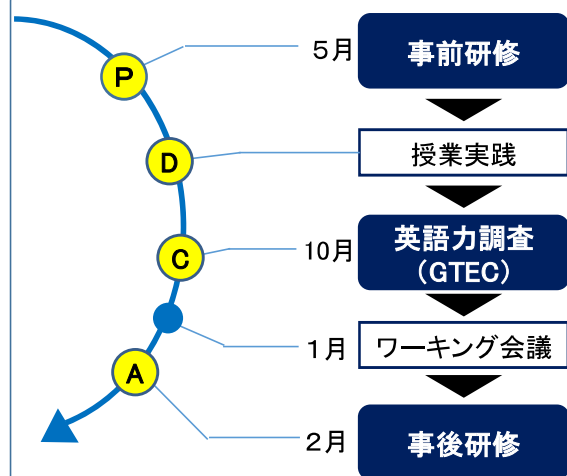
- 無回答、または意味が伝わらない回答の割合:19.7%

GTEC ライティングテスト	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
0点の割合 (英文が書かれていない、または、全体を通して出題にテーマからはずれたことが書かれている)	15.7%	11.5%	19.7%

令和5年度GTECにおける4技能トータルスコアの度数分布



英語力調査を活用した授業改善プログラム



- 昨年度のGTEC結果データを基に、今年度取り組むべき重点的指導を研修
- 教員が、授業改善のためのチェックシートを作成することで、指導内容を明確化

- 各校において、事前研修の内容やチェックシートの取組を踏まえた授業実践

- 取組の効果検証

- GTEC結果データの分析検証
- 成果を事後研修に反映

* 英語教推進ワーキング会議

委員: 平井教育委員(座長)、中教研英語部部長、英語科教員、教育委員会事務局職員

- 教員がチェックシートを活用して、GTEC結果を振り返ることで、成果と課題を認識
- 学校ごとに結果をフィードバックし、効果的な指導、改善すべき指導を提案